

旅と文化

発行所 東京都千代田区
神田神保町 1-30
財団法人全国
修学旅行研究協会
電(301)0531・2429
編集・発行人
永井 照

新春



新年を迎えて

文部大臣 荒木万寿夫

新春のお慶びを申し上げます。この一年、所感の一端を述べたいと思います。わが国将来の繁栄と民族の発展を期するためには、経済政策のみならず、基本となる文教政策に格段の努力を払い、国民すべての能力を開発し、その素質を高めることが不可欠な要諦と考へます。とくに次代を担う青少年に対しては、祖国建設への情熱と十分な能力を培って、元気に教育が行なわれなければならないと痛感する次第であります。



修学旅行に望む

日本教職員組合 書記長 宮之原貞光

新春の年頭にあたり、修学旅行が、これでは修学旅行の発展性は、その効果をより大きくし、旅行の安全を確保し、例へば修学旅行の日程は日休依然として教員本位、大人本位で子供連れのスケジュールに過ぎず、まわされておられる子供連れの修学旅行の一番大事なこと、旅行の事前、事後における教師の責任の所在、事後における批判等、現在の如き位置づけでは克服出来ないと考へます。また、この修学旅行の発展のためには、修学旅行の発展性、その効果をより大きくし、旅行の安全を確保し、例へば修学旅行の日程は日休依然として教員本位、大人本位で子供連れの修学旅行の一番大事なこと、旅行の事前、事後における教師の責任の所在、事後における批判等、現在の如き位置づけでは克服出来ないと考へます。

年頭の御挨拶

財団法人全国修学旅行研究協会 理事長 山本種一



希望に輝く昭和三十七年の年頭に、全国の関係各位に対し、心から新年の御祝詞を申し上げます。今年もまた、一層多岐多岐であり、かつ、新しい年頭に、修学旅行を実施するに先ず安全と信頼性を確保する為、修学旅行専用電車の設立について、全国的な努力をいたしました。その結果、この冬、北九州地域及び東北地域のとりわけ、修学旅行の増加が著しく、多くの悲願であります。はからずも修学旅行の増加が著しく、多くの悲願であります。

私の従来からの修学旅行が各都府県にわたるの極限を越え、全国的な存在であること、この間各位の深い理解と御支援により、微力ではありますが、わが国の教育界は勿論、社会的にも当協会の存在価値は高く評価されるに至りました。この間各位の深い理解と御支援により、微力ではありますが、わが国の教育界は勿論、社会的にも当協会の存在価値は高く評価されるに至りました。

年頭の修学旅行雑感

全日本中学校長会会長 平良 惠路



増進問題である。義務教育の立脚から修学旅行には全員が参加することが望ましいので、この点は国家として是非考へて貰いたいものである。次に本年度は戦後最大と言われる程に生徒数が増えるので、生徒の輸送が問題となる。東京や京阪神や東海地区のほか、北九州や東北地方には専用列車の便があつても、全国各地にはまだなかなか専用列車を作るまでには至っていないので、なんとかして生徒輸送をうまくする様に工夫しなければならぬと思つてゐる。この為には国鉄当局は勿論、各県においても教育関係者がよく話し合つて良い解決策を研究する必要がある。次は修学旅行の指導の点であるが既に教育課程にはつきり位置づけされた以上、従来のように単なる卒業旅行やリクリエーション的な考え方は是非改めたいものである。このためには教師がよく計画を練り、旅行についてあらゆる面からよく研究し、学校単位から地域単位の、中、高校に亘る修学旅行実施計画表を各県や各都、各市町村毎に各関係者が集つて作製することが望まれる。

新年 謹賀

- 全国知事会会長 東 竜太郎
- 大阪府知事 佐藤 義詮
- 北海道知事 町村 金五
- 九州知事会会長 大分 郁
- 全国都道府県教育委員 長協議会会長 木下 一雄
- 都道府県教育長協議会 幹事長 小尾 邦雄
- 全国市町村教育委員会 連合会 会長 赤井 米吉
- 大阪府修学旅行委員会 会長 鎌田 正藏
- 東海三縣修学旅行委員会 会長 岩瀬 繁一
- 全国連合小学校長会 会長 鈴木 虎秋
- 全日本中学校長会 会長 平良 惠路
- 全国高等学校長協会 会長 両角 英運
- 日本教職員組合 中央執行委員長 小林 武
- 全国私立中学高等学校 連合会 理事長 小野 光洋
- 全国学校生活協同組合 連合会 理事長 森 孝太郎